

2020年12月期決算 参考資料

I サマリー情報	P.1
① 経営成績	P.1
② 財政状態	P.1
③ キャッシュ・フローの状況	P.1
④ 設備投資の状況	P.1
⑤ 非資金項目	P.1
II 2020年12月期 実績	P.2
① 損益計算書	P.2
② 製商品別売上高	P.4
③ 研究開発の状況	P.5
III 2021年12月期 業績予想	P.6
① 損益計算書	P.6
② 製商品別売上高	P.8

※ 本資料は累計期間に係る情報を掲載しており、百万円未満を切捨てて表示しております。

※ 本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

2021年2月4日



鳥居薬品株式会社

I サマリー情報

① 経営成績

(単位:百万円)	2019年12月期		2020年12月期		増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2021年12月期 予想 C	増減 C-B	増減率 (%) (C-B)/B
	A	B	B-A	(B-A)/A					
売上高	42,998	41,700	△1,297	△3.0		45,700	3,999	9.6	
営業利益	1,430	4,738	3,307	231.2		3,800	△938	△19.8	
経常利益	1,691	4,971	3,279	193.8		4,100	△871	△17.5	
当期純利益	27,367	3,495	△23,872	△87.2		2,700	△795	△22.8	
(参考)									
研究開発費	2,956	596	△2,360	△79.8		980	383	64.3	
1株当たり当期純利益(EPS)	(円)	974.98	124.47	△850.51		96.14	△28.33		
自己資本当期純利益率(ROE)	(%)	27.3	3.1	△24.2					
総資産経常利益率	(%)	1.4	3.7	2.3					
売上高営業利益率	(%)	3.3	11.4	8.1					
総資産当期純利益率(ROA)	(%)	22.5	2.6	△19.9					

② 財政状態

(単位:百万円)	2019年12月期		2020年12月期		増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
	A	B	B-A	(B-A)/A		
総資産	139,943	126,026	△13,917	△9.9		
純資産	113,125	115,091	1,965	1.7		
自己資本比率	(%)	80.8	91.3	10.5		
1株当たり純資産(BPS)	(円)	4,029.30	4,097.55	68.25		

③ キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)	2019年12月期		2020年12月期		増減額 B-A
	A	B	B-A	(B-A)/A	
営業活動によるキャッシュ・フロー	42,499	△3,443	△45,942		
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,099	7,625	5,526		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,433	△1,425	8		
現金及び現金同等物の期末残高	58,819	61,576	2,756		

④ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2019年12月期		2020年12月期		増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2021年12月期 予想 C	増減額 C-B	増減率 (%) (C-B)/B
	A	B	B-A	(B-A)/A					
設備投資額	330	392	61	18.7		1,227	834	212.9	
有形固定資産	203	277	73	36.0		861	583	210.6	
無形固定資産	126	114	△11	△9.2		366	251	218.4	

⑤ 非資金項目

(単位:百万円)	2019年12月期		2020年12月期		増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2021年12月期 予想 C	増減額 C-B	増減率 (%) (C-B)/B
	A	B	B-A	(B-A)/A					
減価償却費	985	582	△403	△40.9		422	△160	△27.5	
長期前払費用償却費	486	496	10	2.2		656	159	32.1	

Ⅱ 2020年12月期 実績

① 損益計算書

(単位:百万円)	2019年12月期	2020年12月期	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
	A	B		
売上高	42,998	41,700	△1,297	△3.0
製商品売上高	40,641	41,053	411	1.0
腎・透析領域	18,005	14,773	△3,231	△17.9
皮膚疾患領域	9,049	9,918	868	9.6
アレルギー領域	7,627	11,332	3,705	48.6
その他	5,959	5,029	△930	△15.6
その他の売上高	2,356	647	△1,709	△72.5
売上原価	20,702	19,962	△740	△3.6
製商品売上原価	20,588	19,898	△689	△3.3
その他の原価	114	63	△50	△44.2
売上総利益	22,295	21,737	△557	△2.5
販売費及び一般管理費	20,864	16,999	△3,865	△18.5
販管費(研究開発費除く)	17,907	16,403	△1,504	△8.4
研究開発費	2,956	596	△2,360	△79.8
営業利益	1,430	4,738	3,307	231.2
営業外損益	261	233	△27	
経常利益	1,691	4,971	3,279	193.8
特別損益	36,008	△746	△36,755	
税引前当期純利益	37,700	4,225	△33,475	△88.8
法人税等	10,333	729	△9,603	
当期純利益	27,367	3,495	△23,872	△87.2

(参考) 売上高に対する比率

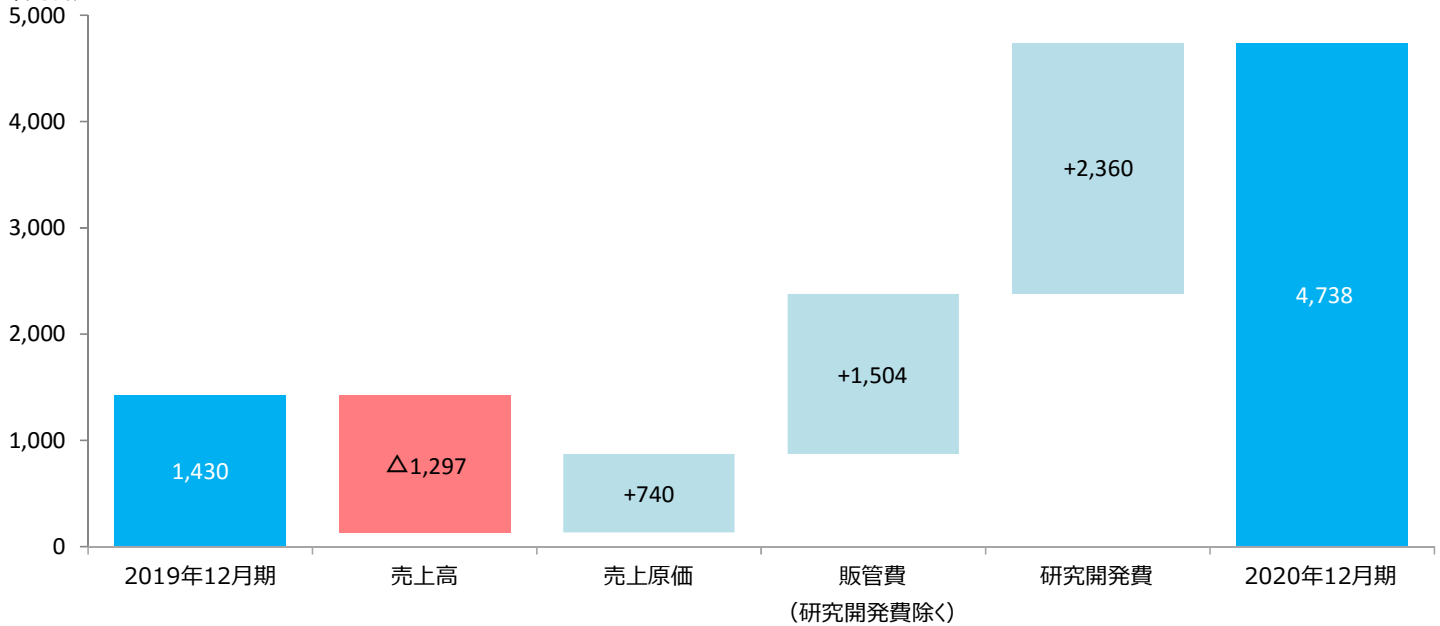
(単位:%)	2019年12月期	2020年12月期	増減 B-A
	A	B	
売上原価	48.1	47.9	△0.2
販売費及び一般管理費	48.6	40.7	△7.9
研究開発費	6.9	1.4	△5.5
営業利益	3.3	11.4	8.1
経常利益	3.9	11.9	8.0
当期純利益	63.6	8.4	△55.2

【対前期増減要因】

営業利益 (4,738百万円 対前期+3,307百万円)

✓ 手数料収入の減少があるも、事業構造改革施策の通年効果により減収増益

(単位:百万円)



主な増減要因

売上高	腎・透析領域	: 減収	レミッチ△23億円 (薬価改定及び後発品の影響)
	皮膚疾患領域	: 増収	コレクチム+12億円 (2020年6月販売開始)
	アレルギー領域	: 増収	シダキユア+24億円、ミティキユア+20億円 (販売数量の増)
	その他の売上高	: 減収	(前期) 抗HIV薬流通手数料収入
売上原価		: 販売品目の構成変化 (自社品比率の上昇) による減少	
販管費 (研究開発費除く)		: 前期実施の事業構造改革 (人員数最適化) による減少	
		: 新型コロナウイルス感染症の拡大の影響による医療機関への訪問自粛等に伴う減少	
		: 新製品の発売等に伴うコントラクトMR費用の増加	
		: ITを活用した医薬品の適正使用情報提供活動に係る費用の増加	
研究開発費		: 前期実施の事業構造改革 (機構改革) による減少	
		: 共同開発費用の減少 (JTT-751、JTE-052)	

経常利益 (4,971百万円 対前期+3,279百万円)

特記事項: 特になし

当期純利益 (3,495百万円 対前期△23,872百万円)

前期	抗HIV薬販売権の返還に係る譲渡益	40,614百万円
	事業構造改革費用 (割増退職金等)	4,504百万円
	法人税等	10,333百万円
当期	事業構造改革費用 (佐倉工場譲渡損失等)	748百万円
	法人税等 (減損損失及び前期事業税の損金算入等)	729百万円

② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2019年12月期	2020年12月期	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
	A	B		
製商品売上高	40,641	41,053	411	1.0
[腎・透析領域]				
リオナ錠	6,630	6,507	△123	△1.9
高リン血症治療剤				
レミッチ	8,693	6,365	△2,328	△26.8
経口そう痒症改善剤				
ケイキサレート ※1	1,907	1,717	△189	△9.9
高カルウム血症改善剤				
その他	773	182	△591	△76.4
計	18,005	14,773	△3,231	△17.9
[皮膚疾患領域]				
アンテベート ※1	5,439	5,241	△198	△3.6
外用副腎皮質ホルモン剤				
ロコイド ※1	1,630	1,674	43	2.7
外用副腎皮質ホルモン剤				
コレクチム軟膏 ※2	—	1,291	1,291	—
外用ヤススキナーゼ (JAK) 阻害剤				
ゼフナート	1,454	1,241	△212	△14.6
抗真菌薬				
その他	524	469	△55	△10.6
計	9,049	9,918	868	9.6
[アレルギー領域]				
シダキュア スギ花粉舌下錠 ※1	3,654	6,139	2,484	68.0
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬				
ミティキュア ダニ舌下錠 ※1	2,749	4,776	2,027	73.7
ダニアレルギーのアレルゲン免疫療法薬				
その他	1,223	416	△806	△65.9
計	7,627	11,332	3,705	48.6
[その他]				
ビオスリー	2,843	2,969	125	4.4
活性生菌製剤(整腸剤)				
その他	3,115	2,059	△1,056	△33.9
計	5,959	5,029	△930	△15.6

※1 自社品

※2 「コレクチム軟膏」は2020年6月より販売しております。

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2019年12月期	2020年12月期	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
	A	B		
自社品売上高	19,068	21,539	2,471	13.0
自社品比率 (%)	46.9	52.5	5.6	—

③ 研究開発の状況

開発番号 「製品名」	予定適応症等	剤形等	開発段階（国内）					備考
			Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認	
腎・透析領域								
JTT-751 「リオナ®錠」	鉄欠乏性貧血	経口剤					申請	<ul style="list-style-type: none"> ・Keryx Biopharmaceuticals, Inc.と日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結 ・日本たばこ産業(株)との共同開発（適応追加） ・日本たばこ産業(株)が2014年1月に高リン血症治療剤として製造販売承認を取得し、当社より販売中 ・日本たばこ産業(株)が2020年5月に効能追加に係る承認事項一部変更承認申請
皮膚疾患領域								
JTE-052 「コレクテム®軟膏」	小児アトピー性皮膚炎	外用剤					申請	<ul style="list-style-type: none"> ・日本たばこ産業(株)創製化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結 ・日本たばこ産業(株)が2020年5月に製造販売承認申請等
	乳幼児アトピー性皮膚炎	外用剤			Phase III			<ul style="list-style-type: none"> ・日本たばこ産業(株)創製化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結
アレルギー領域								
TO-203 「ミティキュア® タニ舌下錠」	室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性喘息) (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠			Phase II / III 終了※			<ul style="list-style-type: none"> ・ALK-Abelló A/Sと日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ※今後の開発方針について検討中

前回公表時（2020年10月30日）からの変更点

・JTZ-951「エナロイ®錠」（腎性貧血）は2020年12月8日に販売を開始（前回公表時：開発段階「承認」）

上記のほか、以下の契約を締結しております。

・2020年1月 日本たばこ産業(株)がDermavant Sciences GmbHと日本における皮膚疾患領域での独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結したアリル炭化水素受容体（AhR）モジュレーター（tapinarof）について、日本における共同開発及び販売に関する契約（日本たばこ産業(株)との共同開発）

・2020年8月 Verrica Pharmaceuticals Inc.との間で、同社が有する皮膚疾患治療薬VP-102について、日本における独占的開発・商業化権を獲得するためのオプション契約

（参考）

・2017年10月に日本たばこ産業(株)が、EirGen Pharma Limitedと慢性腎臓病患者における二次性副甲状腺機能亢進症（SHPT）治療薬であるcalcifediol徐放製剤（米国での販売名「RAYALDEE®」、OPKO Health, Inc.が開発及び販売）について、日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結した旨、また、製造販売承認取得後の販売については、当社が行う予定である旨、公表しております。

当社の親会社である日本たばこ産業(株)（うち医薬事業部門）とは、医薬品に関する製品及びサービスにおいて、各々の強みを生かし、当社は主に製造と販売の機能を担っており、親会社は研究開発の機能を担っております。なお、親会社の研究開発の状況は、日本たばこ産業(株)ウェブサイト上の「医療用医薬品臨床開発状況」をご参照ください。

<https://www.jti.co.jp/investors/library/business/briefing/index.html>

Ⅲ 2021年12月期 業績予想

① 損益計算書

(単位:百万円)	2020年12月期	2021年12月期	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
	実績	予想		
	A	B		
売上高	41,700	45,700	3,999	9.6
製商品売上高	41,053	45,240	4,186	10.2
腎・透析領域	14,773	14,580	△193	△1.3
皮膚疾患領域	9,918	12,680	2,761	27.8
アレルギー領域	11,332	13,510	2,177	19.2
その他	5,029	4,470	△559	△11.1
その他の売上高	647	460	△187	△28.9
売上原価	19,962	22,200	2,237	11.2
売上総利益	21,737	23,500	1,762	8.1
販売費及び一般管理費	16,999	19,700	2,700	15.9
販管費(研究開発費除く)	16,403	18,720	2,316	14.1
研究開発費	596	980	383	64.3
営業利益	4,738	3,800	△938	△19.8
経常利益	4,971	4,100	△871	△17.5
当期純利益	3,495	2,700	△795	△22.8

(参考) 売上高に対する比率

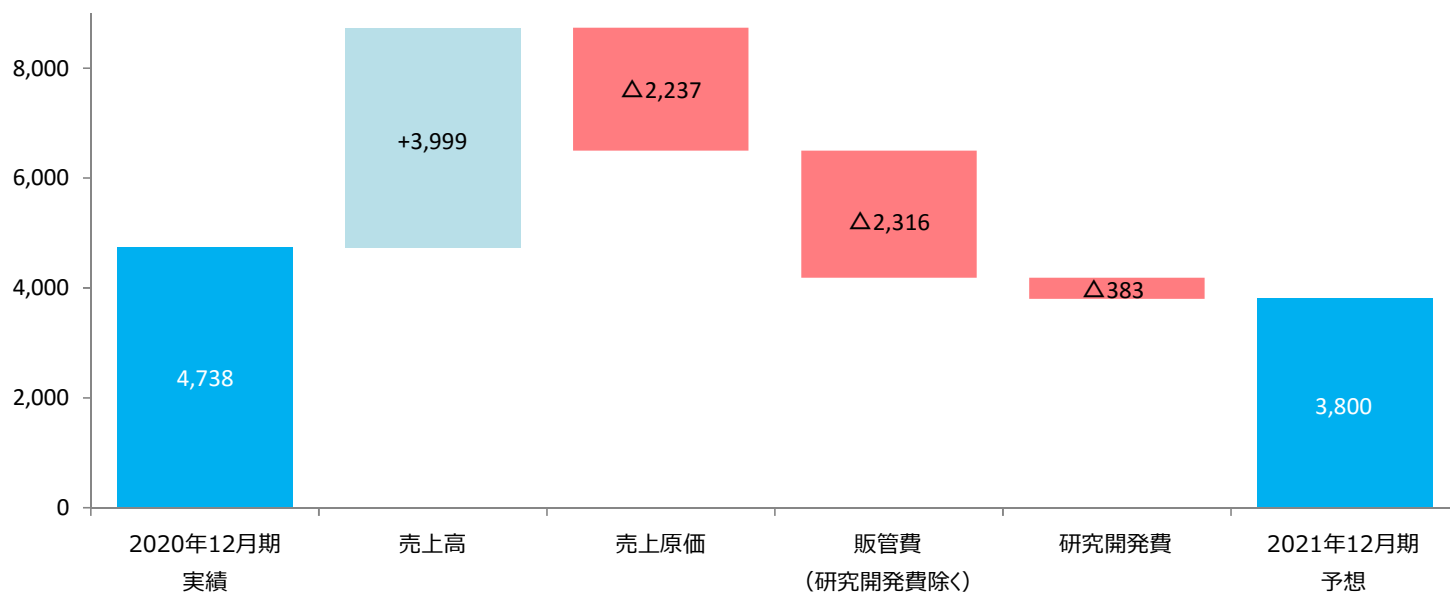
(単位:%)	2020年12月期	2021年12月期	増減 B-A
	実績	予想	
	A	B	
売上原価	47.9	48.6	0.7
販売費及び一般管理費	40.7	43.1	2.4
研究開発費	1.4	2.1	0.7
営業利益	11.4	8.3	△3.1
経常利益	11.9	9.0	△2.9
当期純利益	8.4	5.9	△2.5

【対前期実績増減要因】

営業利益 (3,800百万円 対前期実績△938百万円)

✓ コレクテム及びアレルギー領域の売上増加も、新製品に係る費用投入により増収減益の見込

(単位:百万円)



主な増減要因

売上高	腎・透析領域	: 減収	レミッチ△14億円 (薬価改定及び後発品の影響) リオナ+14億円 (効能追加による販売数量の増)
	皮膚疾患領域	: 増収	コレクテム+34億円 (2020年6月販売開始)
	アレルギー領域	: 増収	シダキュア+12億円、ミティキュア+11億円 (販売数量の増)
売上原価		: 売上高の増加	
販管費 (研究開発費除く)		: 売上連動経費の増加 新製品の発売等に伴う販売費用の増加 パソコン更新等の一過性費用の発生等	
研究開発費		: 既存製品の改良費用の増加	

経常利益 (4,100百万円 対前期実績△871百万円)

特記事項: 特になし

当期純利益 (2,700百万円 対前期実績△795百万円)

前期 事業構造改革費用 (佐倉工場譲渡損失等)
法人税等 (減損損失及び前期事業税の損金算入等)

② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2020年12月期 実績 A	2021年12月期 予想 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	41,053	45,240	4,186	10.2
[腎・透析領域]				
リオナ錠	6,507	7,910	1,402	21.5
高リン血症治療剤				
レミッチ	6,365	4,920	△1,445	△22.7
経口そう痒症改善剤				
ケイキサレート ※1	1,717	1,500	△217	△12.7
高カルウム血症改善剤				
その他	182	250	67	36.7
計	14,773	14,580	△193	△1.3
[皮膚疾患領域]				
アンテベート ※1	5,241	4,840	△401	△7.7
外用副腎皮質ホルモン剤				
コレクチム軟膏 ※2	1,291	4,730	3,438	266.2
外用ヤヌスキナーゼ (JAK) 阻害剤				
ロコイド ※1	1,674	1,590	△84	△5.0
外用副腎皮質ホルモン剤				
ゼフナート	1,241	1,090	△151	△12.2
抗真菌薬				
その他	469	430	△39	△8.3
計	9,918	12,680	2,761	27.8
[アレルギー領域]				
シダキュア スギ花粉舌下錠 ※1	6,139	7,370	1,230	20.0
スギ花粉症のアレルギー免疫療法薬				
ミティキュア ダニ舌下錠 ※1	4,776	5,890	1,113	23.3
ダニアレルギーのアレルギー免疫療法薬				
その他	416	250	△166	△40.0
計	11,332	13,510	2,177	19.2
[その他]				
ビオスリー	2,969	3,070	100	3.4
活性生菌製剤(整腸剤)				
その他	2,059	1,400	△659	△32.0
計	5,029	4,470	△559	△11.1

※1 自社品

※2 「コレクチム軟膏」は2020年6月より販売しております。

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2020年12月期 実績 A	2021年12月期 予想 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
自社品売上高	21,539	22,100	560	2.6
自社品比率 (%)	52.5	48.9	△3.6	-